

わくわく😊ドキドキ 東大戸Show!!

令和3年度 香取市立東大戸小学校
学校だより No.6 令和3年9月28日



学校教育目標

一日一日を大切に 何事にも一生懸命取り組む児童の育成
～ 日々の「わくわくドキドキ」を通して、
児童の**自信**と**実践力**を育てる東大戸小 ～

発行責任者 校長 根本 滋之



児童アンケートの結果をこれから！

緊急事態宣言の解除目前。がまんの多かった生活から解放され、これからできることを少しずつ増やして行けそうです。東大戸小のわくわく♡ドキドキも、さらにパワーアップしていきます！

今回の特集は、令和3年度前期の「児童アンケート」の結果と考察です。「日々のわくわくドキドキを通して児童の自信と実践力を育てる」ことを目指した取組は、今年2年目。全13項目中8項目でプラス回答が過去最高の値になったことから、全体的には成果を得られていると言えます。

特に、94%の子が学校に対してのわくわく感を感じてくれていること(①)は、何よりうれしいことです。また、自分にはよいところ・がんばっていることがあると感じている子(⑩)、よいところ・がんばりを認めてもらっていると感じている子(⑪)が、着実に増えていることも、「自信」の高まりにつながっていると思います。

授業や家庭学習への積極性が高まってきた(⑦⑧)ことも大きな成果です。

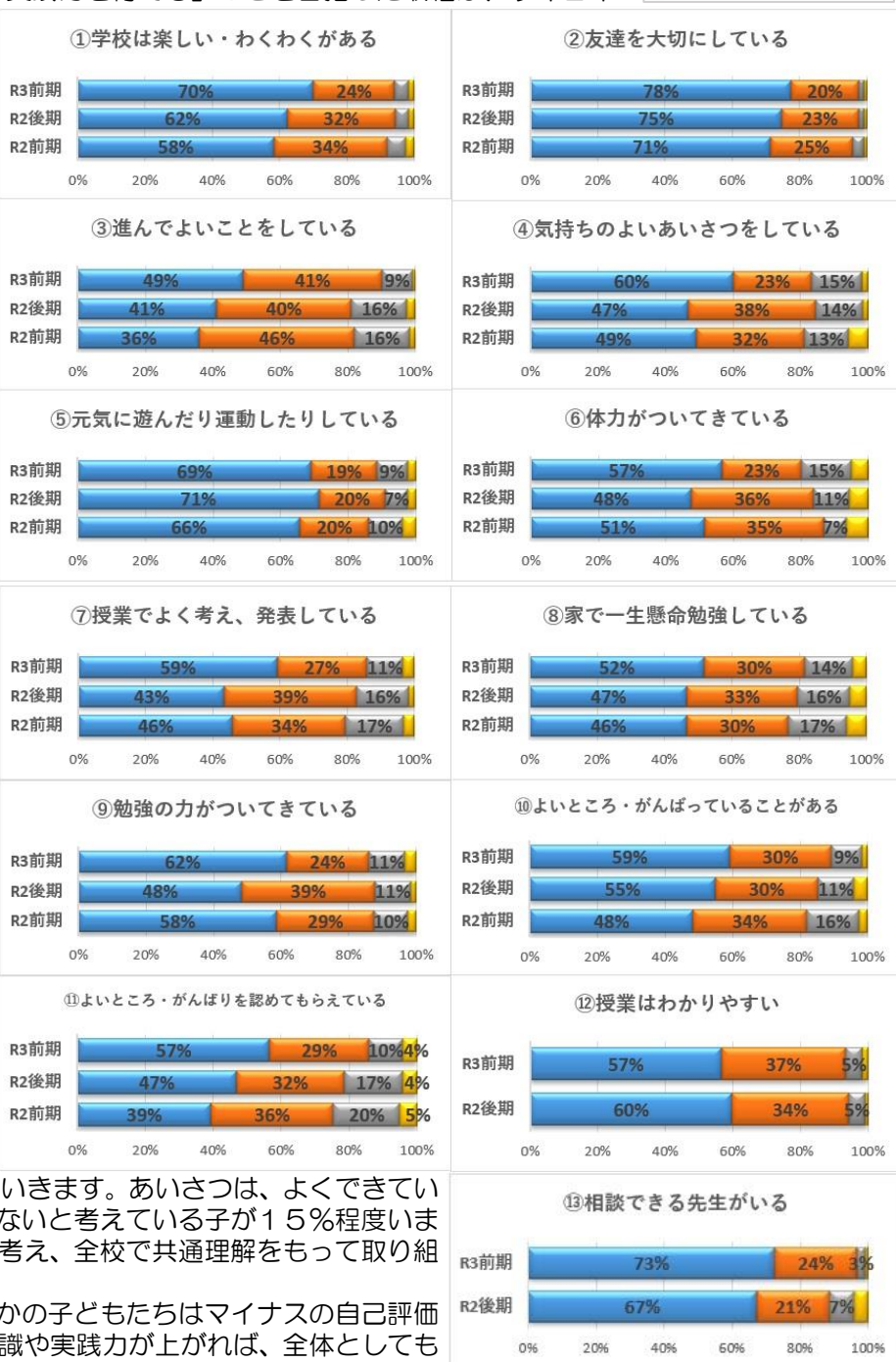
「教師への相談のしやすさ」が改善(⑬)されてきていることもうれしい結果です。

一方、学力の高まりを実感できている子を増やせなかったこと(⑨)は課題です。これは、授業がわかりやすいと感じられる子を増やせなかったこと(⑫)と関連していると推測されます。今後、「わかる授業」に向けた授業改善をさらに進めてまいります。

残念ながら、あいさつ・運動・体力に関する意識は低下(④⑤⑥)してしまいました。感染予防対策のために、思い切り声を出すこと、遊びや運動に制限があることが原因の一つでしょう。後期は、運動会、部活動、マラソン大会等、運動に親しむ行事や活動があります。これらをきっかけに日常的な運動量を増やしていけるようにしていきます。あいさつは、よくできている子は増えている一方で、できていないと考えている子が15%程度います。あいさつのよさや意義を改めて考え、全校で共通理解をもって取り組んでいきます。

また、どの項目においても、何名かの子どもたちはマイナスの自己評価をしています。これらの子たちの意識や実践力が上がれば、全体としてもさらに向上が期待できます。職員一丸となって取組の改善に努めてまいります。

■よくあてはまる
■わりとあてはまる
■あまりあてはまらない
■ほとんどあてはまらない



右のグラフは、特に大切にしている質問項目を、児童・保護者・教職員で比較できるようにしたものです。(今回の結果の比較)

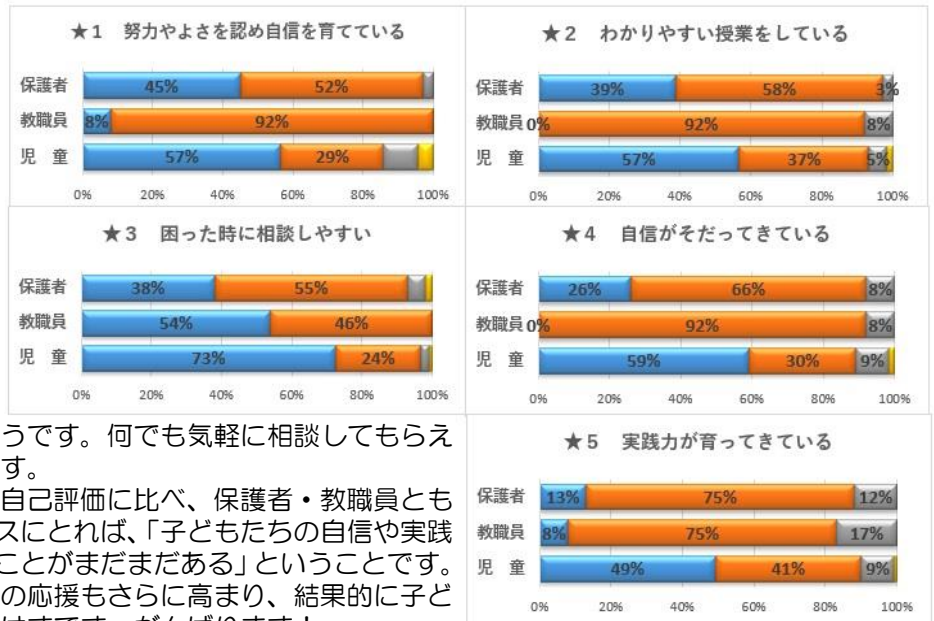
★1は、教職員が今以上に子どもたちの努力やよさを認め励ましていくことで、さらに子どもたちの自信を高めていけることを示唆しています。特に認められていないと感じている15%を意識して取り組んでまいります。

★2も同様です。これまで以上に「わかる授業」にこだわり、子どもたちの学力向上に努めます。

★3では、子ども目線では、相談のしやすさは改善していますが、保護者の皆様には、まだ壁があるようです。何でも気軽に相談してもらえる学校となるよう努力してまいります。

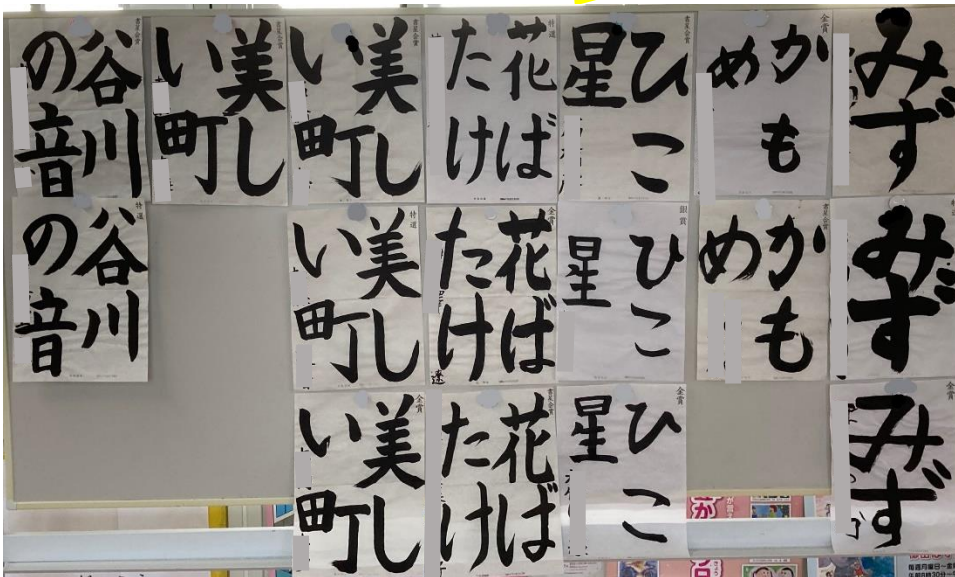
★4、★5ともに、子どもたちの自己評価に比べ、保護者・教職員とも低い値になっています。これをプラスにとれば、「子どもたちの自信や実践力を伸ばすために、教職員にやれることがまだまだある」ということです。そこを改善すれば保護者の皆様からの応援もさらに高まり、結果的に子どもたちをもっともっと高めていけるはずです。がんばります！

児童・保護者・教職員の比較から



※本日、保護者の皆様にご協力いただいた第1回学校評価の結果も配付しましたので、ご参照ください。

入賞おめでとう、夏の席書会！



【書星会賞】

1年	さん
2年	さん
3年	さん
4年	さん
5年	さん
6年	さん

【特選】

1年	さん
4年	さん
5年	さん
6年	さん

【金賞】

1年	さん
2年	さん
3年	さん
4年	さん
5年	さん

【銀賞】

3年	さん
----	----

夏休み作品展開催！



みんなの「夏自慢」が集まった夏休み作品展。それぞれの作品から、一生懸命取り組んでいた子どもたちの姿が浮かんできました。見学する子どもたちの目も輝いていました。

お家の方々に見ていただけなかったのが残念です。来年こそは大公開できますように…。